

就学援助費のうち入学準備金は入学前に支払いを



野網 義一 議員

就学援助は、学校教育法第19条で「経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、市町村は、必要な援助を与えなければならない」とされている。池田町の該当者は何人か、その内小学校1年生、中学校1年生は何人か。認定と支払はいつ行うか、また、入学準備金の金額と支払日はいつか。

新入学学用品費（ランドセル・制服等）を入学前に入学準備金として支払う自治体が増えている。池田町も実施できないか。

教育長 平成29年度で小・中96名の対象者。うち小学生1年生は8名、中学1年生は14名。現在は4月に申請し5月に教育委員会認定し毎学期末に支払っている。入学準備金は小学生4万6000円、中学生4万7,400円です。国の通知もあり、入学する年度の前（2月）に入学準備金を支給できるように改善したい。

補助対象品目

学用品費／体育実技用具費／新入学児童生徒学用品費等／通学用品費／通学費／修学旅行費／校外活動費／医療費／学校給食費／クラブ活動費／生徒会費／PTA会費

金地谷改修に伴う堤防の安全対策を

金地谷の砂防工事は平成21年度から天井川の解消を目的に、河床を2m下げ、河床幅を4mから6.5mに、水深を1.4mから2mに、断面積は6.6㎡から15㎡（2.27倍）に改修された。雨の度に堤防の決壊が心配されてきたがこれでひと安心。また、掘西2号橋の完成により掘西1号橋との間が通行可能になる。

金地谷左岸はアスファルト舗装（3.5m）がされており、タニサケ関係者の利用をはじめ周辺住民や健康志向の散歩ルートになる。道路から河床までの高低差が大きくなり転落防止のためにガードレールやガードパイプ等の安全対策が必要ではないか。

町長

着工から9年で延長730mの工事が今年度完了する。この工事で流下能力も大きくなり周辺住民の方も安心できるようになった。また、見晴らしも良くなり散歩される人も多くなると思われる。転落防止の施設については土木と協議し調整したい。



高低差 4.22m 転落防止対策を（金地谷）

霞間ヶ溪花畑の管理と整備方針は

霞間ヶ溪花畑に厚手の防草シートを敷きつめて芝桜が約6,000株植栽され、来春が待ち遠しい。

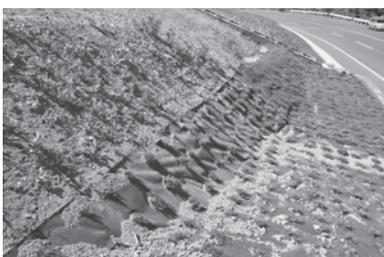
しかし、現在植えられた部分だけではガードレールが遮って、下からあまり目立たない。西幹線から「あれ、何だろう」と気づくくらいのポリウムがほしい。今後、どのように整備していくのか。

また、防草シートの継ぎ手や隙間から雑草が繁り、雨の度に土砂が防草シートに流れ込んでおり、今後、上の草の種も含め流れ込むとせつかくの防草シートが役立たずになってしまう。早急に対応すべき。

これらの管理や今後の植栽（花や木の種類と配置）をどのように進めていくのか。また、周辺の道路の整備は進んでいるのか。

町長

大雨が降ったときの土石流の心配もあるので高木類も入れながら年間を通して楽しんでもらえるように整備していきたい。トイレも改修しているところ。将来的に管理はシルバーに年間委託したい。迂回路については構想はもっているが大きな事業費となるので、上の拠点整備を優先させた



防草シートの上にも土砂が